

第4章 公園再整備のビジョンと方向性

- 1 基本的な考え方
- 2 基本理念
- 3 基本理念を実現するための8つの整備の方針と方策
- 4 地域別整備の方針

第4章 公園再整備のビジョンと方向性

1 基本的な考え方

今後の文京区における公園再整備は、より新しい時代のニーズに合わせ、利用者にとって魅力が高く、都市においての機能を最大限に発揮出来る公園づくりを目指します。同時に、地域の特性を活かし、「地域別整備方針」に基づいた公園づくりを推進します。

しかしながら、区のみでは、望まれる公園像を実現・維持していくことが難しい場面もあると考えられます。今後、公園再整備を通して、区民や民間業者等の公園に関わる人々を増やし、様々な立場の人々とともに維持管理運営による公園の魅力向上を図ります。

2 基本理念

本計画における基本理念を以下のように掲げます。

【基本理念】

「^{ふみ}文の^{みやこ}京」の成り立ちを尊重し、自然、歴史、文化を
大切にしつつ、人の輪が広がる公園をつくります。

文京区は、台地と谷と低地が入り組んだ変化に富んだ地形や崖線に見られるまとまった緑や湧水に代表される豊かな「自然」、豊かな自然と深く関りながら育んできた古い「歴史」、そして、明治・大正期には学校群が立地し、多くの学者、文人が集まり、活動してきた豊かな「文化」といったものを土台として、これまで発展してきました。

文京区の公園再整備に当たっては、このような「文の京」の成り立ちを十分に尊重し、大切に守っていくとともに、これからの公園づくりに活かしていくことで、公園を区民が誇りと愛着をもつ場所としていきます。そして、文京区の公園が、たくさんの人が集い、人の輪が生まれ、広がっていく場となることを目指し、この基本理念を掲げます。

「^{ふみ}文の^{みやこ}京」とは

これまで、文京区は、「文教の府」といわれ、「文化の香り高いまち」をめざして発展してきた。これに寄せる区民の誇りと愛着を大切にしたい。そのうえで、区民と区が、時代の大きな変化に適応しつつ、可能性に富んだこの地を、新たな洗練と成熟の段階へとさらに発展させていく都市自治の姿を「文の京」と呼ぶ。

出典 「文の京」総合戦略(令和2年3月)

この基本理念のもと、区の公園が全般的に抱える課題を解消するとともに、公園が担う4つの役割を向上させ、それぞれの機能が相互に連携し、一体となって基本理念を実現するように、次頁に示す整備方針、方策を掲げます。

3 基本理念を実現するための8つの整備の方針と方策

(1)再整備の体系

「Ⅰ」は施設整備に関する方策、「Ⅱ」は管理運営に関する方策を示します。

【基本理念】

ふみ みやこ

「文の京」の成り立ちを尊重し、自然、歴史、文化を大切にしつつ、人の輪が広がる公園をつくります。

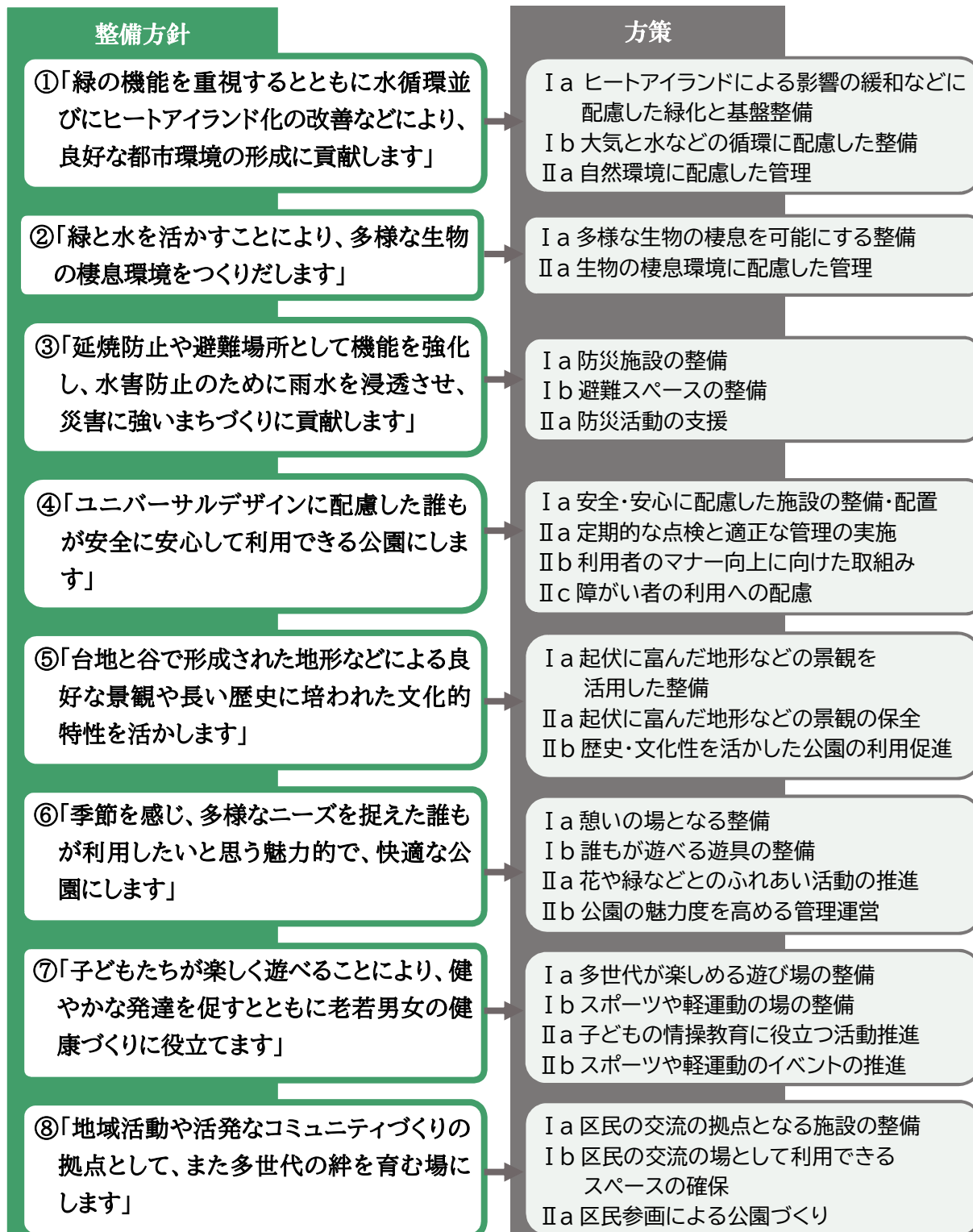


図 4-1 整備方針に対する方策の体系図

(2) 方策の具体的な内容

表 4-1 整備方針①～⑧及び対応する方策

整備方針	①「緑の機能を重視するとともに水循環並びにヒートアイランド化の改善などにより、良好な都市環境の形成に貢献します」
方策	<p>I-a ヒートアイランドによる影響の緩和などに配慮した緑化と基盤整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・区内の緑のネットワーク化に配慮しながら、公園が市街地における緑の核となるように緑化を推進する。 ・良好な表土の復元、客土、土壌の改良など、樹木の健全な成長を促す基盤の整備を行う。 <p>I-b 大気と水の循環に配慮した整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・雨水が地中に浸透できる表面積を増やすため、広場や園路は、土系舗装の割合を多くし、人工的な舗装をする場合は透水性に配慮する。 ・雨水流出抑制対策として雨水貯留施設や、浸透柵、浸透トレンチ等を園内に整備する。 <p>※特に台地上に立地する公園など、湧水の保全や低地への雨水の集中を防ぐために重要な箇所は、雨水浸透に十分配慮する。</p> <p>II-a 自然環境に配慮した管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・樹木が健全に育つように、剪定などの適正な維持管理を行う。
整備方針	②「緑と水を活かすことにより、多様な生物の棲息環境をつくりだします」
方策	<p>I-a 多様な生物の棲息を可能にする整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域に自生する植生や地形にも配慮した植栽を行う。 ・崖線に沿ったまとまった緑など周辺の緑や水辺との連続性に配慮した植栽を行う。 ・良好な表土を復元するように努める。 ・生物の棲息環境として、立地上特に重要な公園は、水施設の新設や小規模なビオトープづくりなどを行う。 <p>II-a 生物の棲息環境に配慮した管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昆虫などの棲息環境に配慮した植え込み地の管理を行う。(刈り残しなど) ・鳥や蝶などの餌となる花や木の実などがなる植生を保全する。(開花時期などに配慮した剪定など) ・水施設がある公園では生物の棲息環境となる池のヘドロやゴミなどの定期的な維持管理を行い、水質改善に努める。

整備方針	③「延焼防止や避難場所として機能を強化し、水害防止のために雨水を浸透させ、災害に強いまちづくりに貢献します」
方策	<p>I-a 防災施設の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防火水槽や井戸、防火樹や延焼防止機能に優れた植栽などを整備する。 ・浸透性の高い舗装や、浸透施設・貯留施設など都市型水害の防止につながる施設を整備する。 ・自然エネルギーを利用した照明施設など災害時に利用できる施設を整備する。 ・避難できる広場、マンホールトイレや、ソーラー式照明灯等の非常灯などの防災施設を整備する。 <p>I-b 避難スペースの整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設をバランスよく配置し、災害時の一時避難場所や避難路となるスペースを確保する。 <p>II-a 防災活動の支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域住民や就労者などによる公園内の自主的防災訓練などを支援する。
整備方針	④「ユニバーサルデザインに配慮した誰もが安全に安心して利用できる公園にします」
方策	<p>I-a 安全・安心に配慮した施設整備や施設配置</p> <ul style="list-style-type: none"> ・老朽化施設や安全規準に準拠しない遊具の撤去・更新を行う。 ・歩行者が歩きやすい園路幅と園路の明るさを確保する。 ・防犯カメラの設置や、トイレなど個室となる空間に警報ランプ付ブザーの設置を行う。 ・境界部のフェンスや、園内の低木は高さを押さえたものとし、園内の見通しを確保する。 ・「都市公園の移動等円滑化整備ガイドライン」や、「文京区バリアフリー基本構想」に基づいた公園のユニバーサルデザインに配慮した対応を行う。 ・トイレや遊具などの施設のバランスのよい配置や既存樹の適正な剪定や間引きなどにより公園内外の死角をなくし、見通しを確保する。 <p>II-a 定期的な点検と適正な管理の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域と協働で、遊具などの定期的な施設点検や清掃等適正な維持管理を行う。 <p>II-b 利用者のマナー向上にむけた取組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イラスト入りのわかりやすい看板などの設置による公園マナー・ルールの周知を行う。 ・様々な利用者がお互い楽しく遊べるように、マナー向上にむけて公園を見守る区民の見回り等の活動を支援する。 ・利用者が愛着をもち、公園を大切に利用するように、区民参画による公園づくり(設計～管理運営)を推進する。 <p>II-c 障害者の利用への配慮</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サイン表示により、公園施設のユニバーサルデザイン対応状況を利用者へ周知する。 ・公園施設のユニバーサルデザイン対応状況をホームページ等で情報発信し、利用者へ周知する。

整備方針	⑤「台地と谷で形成された地形などによる良好な景観や長い歴史に培われた文化的特性を活かします」
方策	I-a 起伏に富んだ地形などの景観を活用した整備 <ul style="list-style-type: none"> ・公園の眺望拠点に対して、景色が楽しめるように眺望を確保し、休憩施設を整備する。 ・公園内の高低差や斜面に対してすべり台などの地形を活用した遊び場や、植栽によって魅力を高める整備をする。
	II-a 起伏に富んだ地形など良好な景観の保全 <ul style="list-style-type: none"> ・起伏に富んだ地形が眺められる眺望点や、斜面緑地を保全する。
	II-b 歴史性・文化性を活かした公園の利用促進 <ul style="list-style-type: none"> ・歴史的背景をもつ公園めぐりなどのイベントを支援する。 ・公園の歴史性・文化性について、園内の案内板やホームページなどでPRする。
整備方針	⑥「季節を感じ、多様なニーズを捉えた誰もが利用したいと思う魅力的で、快適な公園にします」
方策	I-a 憩いの場となる整備 <ul style="list-style-type: none"> ・紅葉、花、実のなる樹種など、利用者が四季の変化を楽しめる植栽をする。 ・常緑樹と落葉樹をバランスよく配置し、ベンチなどのそばには夏場の木陰となる樹木を植栽する。 ・利用者が快適で過ごしやすい休憩施設の配置に配慮する。 ・水施設がある公園では、親水性の高いデッキなど水辺を楽しめる施設を整備する。
	I-b 誰もが遊べる遊具の整備 <ul style="list-style-type: none"> ・障がいの有無にかかわらず誰もが楽しんで遊ぶことができるインクルーシブ遊具を整備する。
	II-a 花や緑などとのふれあい活動の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・古くから残る豊かな自然環境などを活用した自然観察会や自然とのふれあい教室を開催する。 ・区民参画などによる花壇づくりを推進する。
	II-b 公園の魅力度を高める管理運営 <ul style="list-style-type: none"> ・木陰と日当りのバランスや開花時期に配慮した樹木の管理を行う。 ・公募設置管理制度(Park-PFI)を活用して民間事業者との連携を強化し、公園をより柔軟に活用できるようにする。

整備方針	⑦「子どもたちが楽しく遊べることにより、健やかな発達を促すとともに老若男女の健康づくりに役立ってます」
方策	<p>I-a 多世代が楽しめる遊び場の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どものみならず中高生まで楽しめるように配慮し、特徴的な遊具や人気のある遊具を設置する。 ・インクルーシブ遊具を整備する。 ・地域の公園のそれぞれで様々な遊びが楽しめるよう、各公園のテーマを絞り、近接する公園とは異なる遊具を設置する。 <p>I-b スポーツや軽運動の場の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・軽運動(ラジオ体操、ボール遊びなど)ができる多目的広場や健康遊具などを整備する。 <p>II-a 子どもたちの情操教育に役立つ活動の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・NPO などの誘致や学生などの協力により、冒険遊び場などの公園における子どもたちの多様な創造性を引き出す自主的活動を支援する。 <p>II-b スポーツや軽運動のイベントの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康づくりに役立つイベント(ラジオ体操やヨガなど)を開催する場として公園が活用されるよう支援する。
整備方針	⑧「地域活動や活発なコミュニティづくりの拠点として、また多世代の絆を育む場にします」
方策	<p>I-a 区民の交流の拠点となる施設の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者が気軽に井戸端会議ができるような四阿や野外卓などを整備する。 ・親子連れなどの集いの場となるように、遊具や球技場の近くにベンチなどを設置する。 ・隣接する区有施設や公共施設と一体的に整備し、地域の拠点となるよう整備する。 <p>I-b 区民の交流の場として利用できる空間の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域のイベントやお祭りに利用できる広場スペースを確保する。 <p>II-a 区民参画による公園づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・区民や就労者、学生などと連携したボランティア活動などを支援する。 ・花壇づくりや公園管理など公園管理に関する研修などを行い、技術向上を図ることで区民参画による公園づくりを支援する。 ・公園の利用者からの要望等を抽出し、維持管理運営に反映する。 ・設計段階から区民参画を行い、子どもから大人までの意見を公園づくりに反映する。 ・樹木の状態を区民が自らモニタリングできるシステムの構築を検討する。

4 地域別整備方針

それぞれの地域での課題や整備の方針を踏まえ、各地域の特長を活かすとともに、ニーズの適合、不足機能の充実等の整備の考え方を以下に示します。

表 4-2 地域別公園再整備の考え方

南西部ゾーンの整備方針	
目白台地域	<ul style="list-style-type: none"> ①子ども向けレクリエーション機能を充実させます。 ②大規模公園のまとまったみどりの美しい景観を適切に維持管理します。 ③公園内の高木植栽による緑陰を確保します。
音羽・大塚地域	<ul style="list-style-type: none"> ①子ども向けレクリエーション機能を充実させます。 ②機能を絞った利活用を検討します。 ③イベントができる場を整備します。 ④地域住民の公園への関心を高めるための、公園へ行く「目的」、「居場所」づくりを行います。
春日・水道地域	<ul style="list-style-type: none"> ①積極的な公園改修を進めます。
中央部ゾーンの整備方針	
白山・千石地域	<ul style="list-style-type: none"> ①遊具の老朽化や、劣化による更新・補修の対応をします。 ②大規模公園のまとまったみどりの美しい景観を適切に維持管理します。 ③小規模公園の公園機能分担のための再編をします。
小石川地域	<ul style="list-style-type: none"> ①機能を絞った利活用の検討をします。 ②快適なみどりの空間を提供します。 ③季節の変化に富んだ植栽整備を進めます。 ④軽運動のできる広場の整備を検討します。
東部ゾーンの整備方針	
本駒込地域	<ul style="list-style-type: none"> ①高齢者に利用しやすく・豊かなみどり空間の整備を進めます。 ②小規模公園の公園機能分担のための再編をします。 ③公園施設の老朽化や、劣化による補修や更新を進めます。
根津・本郷地域	<ul style="list-style-type: none"> ①高齢者が利用しやすく、豊かなみどり空間の整備を進めます。 ②機能を絞った利活用を検討します。 ③軽運動のできる広場の整備を検討します。
湯島地域	<ul style="list-style-type: none"> ①快適なみどりの空間の整備を進め、維持保全に努めます。 ②公園内の防災機能を充実させます。 ③各公園の機能向上を図ります。 ④落葉樹を充実させます。

地域別整備方針図

音羽・大塚地域

- ①子ども向けレクリエーション機能を充実させます
- ②機能を絞った利活用を検討します
- ③イベントができる場を整備します
- ④地域住民の公園への関心を高めるための、公園へ行く「目的」、「居場所」づくりを行います

白山・千石地域

- ①遊具の老朽化や、劣化による更新・補修の対応をします
- ②大規模公園のまとまったみどりの美しい景観を適切に維持管理します
- ③小規模公園の公園機能分担のための再編をします

小石川地域

- ①機能を絞った利活用の検討をします
- ②快適なみどりの空間を提供します
- ③季節の変化に富んだ植栽整備を進めます
- ④軽運動のできる広場の整備を検討します



本駒込地域

- ①高齢者に利用しやすく、豊かなみどり空間の整備を進めます
- ②小規模公園の公園機能分担のための再編をします
- ③公園施設の老朽化や、劣化による補修や更新を進めます

東部ゾーン

根津・本郷地域

- ①高齢者が利用しやすく、豊かなみどり空間の整備を進めます
- ②機能を絞った利活用を検討します
- ③軽運動のできる広場の整備を検討します

湯島地域

- ①快適なみどりの空間の整備を進め、維持保全に努めます
- ②公園内の防災機能の充実させます
- ③各公園の機能向上を図ります
- ④落葉樹を充実させます

目白台地域

- ①子ども向けレクリエーション機能を充実させます
- ②大規模公園のまとまったみどりの美しい景観を適切に維持管理します
- ③公園内の高木植栽による緑陰を確保します

春日・水道地域

- ①積極的な公園改修を進めます

図 4-2 地域別整備方針図